週刊 酒ふんくく

Vol.2

2009.5.31

祝・草瑠くん復帰

今か酔っ払いアイドルとして名をとどろかせているスマップの草瑠君が一ケ月の謹慎を経て、みごとに復活したのをテレビで観た時には、同じ一酔っ払いとして、ほっとした。眠いだけなら一ケ月で復帰できるのだという安心感。まあ、とはいえ外で飲む時には、慎重にしなくては、という教訓にはなった。心構えだけは…頑張ります。

今週の1本

アサヒ スーパードライ

ざっぱーん

チェックPOINT!

ネック部分も主張

洗練されたクリアな味、辛口

さらりとした口あたり シャープなのどごし。キレ味さえる、いわば辛口ビールです。

この押しつけがましい主張がしくて好き。なみにこのビールは、コ1度改訂されているのです。

割り物の無い店

ここは、割り物が一切ない飲み屋…

つづく!

想い出の居酒屋 ②

「小田原のつぼ八」

広い割にがらっと客が少なかったこの店。出てきたモツ煮が何日も煮込んだ様なDeep。しっかり味。その美味しさが忘れられず、モツ煮目当てで小田原に行ったほど。十何年も前の話なので、今は違うかもしれないけど。

因縁の「挑戦」酒

アサヒスーパードライは、もともとビールの中で一番好きだったということ以上に、公私共に非常に因縁深い酒だ。これに関して語り出すと、一晩この話だけで酒が飲めてしまうくらい、ネタも想いも多すぎるので、ここでは書きません。

最近は濃いめのビールが好きになったりして、嗜好が少し変わったので他ビールも多いに飲んでますが。

しかし、よく働いた後に「かったー。仕事終ったー」という気持ちで飲むビールとしては、やはりスーパードライに限る。しかも、瓶。「挑戦」するブランドであるこのスーパードライの内包する熱い「気」が、挑戦後のヒートアップをクールダウンするには最適なおつまみとなるのでしょう。

つづま!

完

酒かるた vol.2

い 言い訳する奴は下戸と認定す

【解説】「昔はすごかったんだけど」とか、「今日は体調悪いから」とか、「明日早いから」とか、言い訳して呑まないんがいる時、何と言っていようと、心の中では、一律「下戸」と認定している。

編集後記 前回は、一日で一気に全部書いていたのですが、今回は一週間のうちでちまちまと進めていきました。日々、ネタがぶかんだりしていくのも面白いです。

作者